

令和5年度 果樹シラバス

科目	果 樹	年 次	4	教科書	果 樹	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

学習目標

果樹生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や果実の生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 果樹類は種類や品種によって、異なった管理方法があることを知る。
2. 果樹園並びに鉢物作物における枝の生長、果実の収量、品質との関係を知る。
3. 優良品質の果実が得られるような整枝・剪定、施肥の方法、結実管理、病虫害の種類や防除法などの栽培管理技術を身につけるようにする。

授業について

果樹栽培の知識・技術を身につけるためには、実際に栽培しながら学習することが大切です。

そのために、アセロラ、ドラゴンフルーツ、パッションフルーツ、柑橘類等の果樹作物を教材として栽培します。観察実験の記録を取り、科学的で実践的な知識・技術を身につけましょう。

定期考査・課題・提出物

学 期	前 期	後 期
考 査	中間考査、学期末考査を実施	中間考査、学期末考査を実施
試験範囲	1. 果樹の種類と果実の利用 2. 果樹の生育と栽培環境 3. 果樹の栽培管理（前期教材作目）	1. 果樹園の土壌管理 2. 果樹の流通と経営改善 3. 草花の栽培管理技術（後期教材作目）
提 出 物	授業毎のファイル、作品等	授業毎のファイル、作品等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	果樹の役割や果樹栽培に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	果樹栽培の課題を科学的に捉え、考察し、判断することができる。
技能	果樹の基礎的な栽培技術を身につけている。 果樹の特性を活かした展示装飾ができる。
知識・理解	果樹の栽培技術、生育の環境要因に関する知識・理解がある。 果樹の活用方法に関する知識・理解がある。

※ 評価の方法... 授業への参加（出席）、定期テスト、学習態度、提出物等を総合的に評価し、成績とします。

